

奈良県の奨励品種

	地帯別	適応品種名	備考
うるち	平坦部 〔奈良盆地の標高100m以下の地帯〕	キヌヒカリ（早生の早） ヒノヒカリ（中生）	いずれも強稈・良質で機械化移植栽培に適する。
	中間部 〔生駒・金剛葛城山麓、吉野川階段地の標高100～300mの地帯〕	キヌヒカリ（早生の早） ヒノヒカリ（中生）	いずれも強稈・良質で機械化移植栽培に適する。
	山間部 〔大和高原、宇陀・吉野山間の標高300～500mの地帯〕	あきたこまち（極早生） ひとめぼれ（早生の早） コシヒカリ（早生の早） ヒノヒカリ（中生）	良質で山間に適するが、あきたこまち、ひとめぼれ、コシヒカリは耐倒伏性、いもち病抵抗性が劣り、ヒノヒカリはいもち病抵抗性が劣るので、施肥基準を遵守し、適期防除に努める。 ヒノヒカリの作付は標高400m程度までの地帯とする。
もち		旭糯 ココノエモチ	

この他に準奨励品種の露葉風（酒米）がある